

## 山口情報芸術センター [YCAM] イベント

## YCAMオープンラボ2020

## 続・ナマモノのあつかいかた

2020年6月7日(日)から8月2日(日)までの毎週日曜11時

山口情報芸術センター [YCAM] ウェブサイト [www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

## オンライントークセッションプログラム始動！

## 世界のラボと考える新型コロナウイルス以降の「ラボの現在と可能性」

山口情報芸術センター [YCAM] では、今日におけるアートやテクノロジー、研究開発のあり方を捉え直すイベント「YCAMオープンラボ2020：続・ナマモノのあつかいかた」を開催します。

現在、世界は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に直面し、人々の生活は多大な影響を受けています。こうした状況に対して、世界各地に点在する民間あるいは小規模のラボの中には、マスクなどの必需品の自作や、新型コロナウイルスの検査キットを開発する試みが広がっています。

このイベントでは、昨年の「YCAMオープンラボ2019」に招聘した登壇者をはじめ、バイオテクノロジーに関するオルタナティブな活動を展開する国内外のアーティストや研究者らとともに、現在の状況における取り組みについてオンラインでトークセッションを実施します。

テクノロジーの最前線で活動する実践者との交流を生み出すこのイベントを通じて、バイオテクノロジーが社会で果たす役割についてはもちろん、生命と文化の関わりや、これからの公共文化施設のあり方についても考えていきます。この機会にぜひご覧ください。



「YCAMオープンラボ2019：ナマモノのあつかいかた」の様子（撮影：谷康弘）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：[press@ycam.jp](mailto:press@ycam.jp) ウェブサイト：[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## ラボと研究開発の現在を探る YCAM オープンラボ



「YCAM オープンラボ2019: ナマモノのあつかいかた」の様子 (撮影: 谷康弘)

YCAMでは開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求をおこなっており、YCAM でなければ生み出せないオリジナル作品を多数制作、発表してきました。また作品制作と同時に、作品と鑑賞者をつなぐギャラリーツアーや、人々の好奇心や想像力を刺激する教育プログラムの開発／提供もおこなうほか、さらに近年は、さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、地域課題や地域資源に結びつける取り組みもおこなっています。

「YCAM オープンラボ」は、そうした多岐に及ぶYCAMの活動の全体像を、幅広い層の人々に向けて紹介すべく2017年にスタートした複合型のイベントです。YCAMの活動を支える研究開発チーム「インターラボ」のメンバーや、毎年設定されるテーマに沿ったゲストによるトークイベントを軸に、多彩なプログラムが展開されるのが特徴です。こうしたプログラムを通じて毎回、YCAMの現在、そして開館以来のミッションである文化基盤としての情報の可能性を描き出しています。

4回目の開催となる今回は、会場をオンラインに移し、「続・ナマモノのあつかいかた」と題して、新型コロナウイルス感染症が拡大する今日の世界におけるラボや研究開発活動のあり方をテーマに開催。国内外からバイオテクノロジーに関するオルタナティブな活動を展開する組織のメンバーやアーティスト、研究者などを招聘し、オンライン上でトークセッションをおこないます。

### ■ これまでのYCAM オープンラボ

YCAM オープンラボ2017

**HELLO, YCAM!**

2017年12月15日～17日

ゲスト：伊藤亜紗、柴田剛、三宅唱、橋本裕介、林篤志、エキソニモ、細尾真孝、寛康明、古館健、徳井直生、環ROY、久保田晃弘、馬定延ほか

YCAM オープンラボ2018

**グッドセンスなラボ**

2018年10月6日～8日

ゲスト：アレクシー・アンドレ、本條陽子、菅野薫、ポール・ダンステップ、チェ・テユン、小川秀明、真鍋大度、石橋素ほか

YCAM オープンラボ2019

**ナマモノのあつかいかた**

2019年11月16日～17日

ゲスト：サンドラ・サジョヴィッチ、ヌル・アクバル・アロファトゥラ、片野晃輔、ハリー・アクリゴ、contact Gonzo、オロン・カツ

## パーソナル・バイオテクノロジーの実践者とともに考える今日の状況



「YCAMオープンラボ2019：ナマモノのあつかいかた」の様子（撮影：谷康弘）

現在、世界は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に直面しています。日本を例にとっても、感染拡大にともなう医療現場でのリソースの逼迫や、史上初の緊急事態宣言の発令など、過去に類例を見ない規模で生活に影響が出ています。こうした状況に対して、小規模なものづくりを試行できる世界各地の民間のラボの中には、3Dプリンターなどの機材と身近な素材を組み合わせることで、マスクやフェイスシールド、防護服などの必需品を自作する動きが現れているほか、バイオテクノロジーにまつわるノウハウや機材を持つバイオリボには、新型コロナウイルスの簡易的な検査キットを開発する動きも出てきています。

今回のゲストは、昨年の「YCAMオープンラボ2019：ナマモノのあつかいかた」に登壇した、ヨーロッパやアフリカ、アジア、オセアニアの各地域に拠点を置いて活動するバイオリボを持つ組織のメンバーや、バイオテクノロジーの専門家に加え、他地域のラボからもゲストを迎えます。ホストを務めるのは、YCAMインターラボのメンバーと、2019年にYCAMで展覧会を開催したアーティストユニットcontact Gonzo（コンタクト・ゴンゾ）の塚原悠也。会場をオンラインに移し、毎週ひとりずつゲストを迎え、活動拠点の状況や、現時点での取り組みについてのトークセッションをおこないます。

バイオテクノロジーの実践者との交流を通じて、バイオリボの役割や、生命と文化の関わり、そして公共施設のさらなる可能性を描き出します。

### ■ ヌル・アクバル・アロファトゥラ

ライフパッチのメンバー。農業バイオテクノロジー分野の研究者で、現在は東京農工大学大学院生物生産科学専攻に在籍。ライフパッチはインドネシアを拠点にアート、科学、テクノロジーの領域で横断的な活動を行うアートコレクティブ。2012年の結成以来、地域社会におけるテクノロジー、天然資源、人的資源の調査・研究・開発に取り組んでいる。

### ■ ハリー・アクリゴ

ハイブ・バイオリボ共同設立者。ハイブ・バイオリボは、ガーナ国内初のDIYバイオリボとして、インキュベーションセンターであるクマシハイブ内に2018年にオープン。研究や教育、起業支援を通して地域が抱える問題に取り組む。

### ■ オロン・カツツ

1996年に発表した「組織培養とアートプロジェクト」はバイオアートの先駆的なプロジェクトと見なされている。2000年には西オーストラリア大学の解剖学・生理学・人間生物学科付設のアート研究センター「シンビオティカ」を共同設立した。シンビオティカは「アルス・エレクトロニカ・ゴールド・ニカ・ハイブリッドアート部門賞」（2007年）、「WA最高科学賞」（2008年）を受賞している。

### ■ 塚原悠也

1979年京都府生まれ大阪府在住。関西学院大学大学院文学部美学専攻修士課程修了。2006年よりパフォーマンス集団コンタクトゴンゾの活動を開始。殴り合いのようにも、ある種のダンスのようにも見える、既存の概念を無視したかのような即興的なパフォーマンス作品を多数制作。またその経験をもとに様々な形態のインスタレーション作品や、雑誌の編集発行、ケータリングなどもチームで行う。2011-2017年度、セゾン文化財団のフェロー助成アーティストとして活動。京阪なにわ橋駅併設アートエリアB1共同ディレクター。2020年度より京都国際舞台芸術祭共同ディレクター。

## 開催概要

## YCAMオープンラボ2020

## 続・ナマモノのあつかいかた

2020年6月7日（日）から8月2日（日）までの毎週日曜11時から  
山口情報芸術センター [YCAM] ウェブサイト

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

参加無料

ゲスト：ヌル・アクバル・アロファトゥラ、ハリー・アクリゴ、オロン・カッツほか

ホスト：レオナルド・バルトロメウス、伊藤隆之、高原文江、津田和俊、  
吉崎和彦（以上YCAMインターラボ）、塚原悠也（contact Gonzo）

## スケジュール

6月7日（日） イントロダクション

6月14日（日） ゲスト：ヌル・アクバル・アロファトゥラ

6月21日（日） ゲスト：ハリー・アクリゴ

6月28日（日） ゲスト：オロン・カッツ

※7月以降のゲストについては、YCAMのウェブサイトでご案内します

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## ■ イベントの参加方法

イベント当日になりましたら、YCAMのウェブサイトからイベントのページにアクセスしてください

ウェブサイト：

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)